

2024年度（令和6年度）

学校関係者評価報告書

2024年4月

学校法人彰栄学園

彰栄リハビリテーション専門学校

学校関係者評価報告書

学校法人彰栄学園彰栄リハビリテーション専門学校は、2023年度の自己評価を基本とした学校関係者評価を実施いたしましたので、ここに報告します。

《本校の学校関係者評価について》

学校関係者評価は、学生・卒業生、関係業界・団体、教育業界、保護者・地域住民などを、学校自らが選任し、構成された評価委員会等が、「彰栄リハビリテーション専門学校 学校評価実施規程」に沿って学校が行った自己評価の結果について評価することを基本として行う評価です。

◇目的

本校の自己評価結果の客観性、透明性を高めるとともに、本校と密接に関係する学校関係者の理解促進や連携体制による学校運営の更なる改善、教育活動及び学校運営などの質の保証と向上を図ることを目的とします。

◇自己評価・学校関係者評価の対象期間

2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）

1. 学校関係者評価委員

- (1) 木越浩平（新和会鳳永病院リハビリテーション部作業療法主任）
- (2) 手塚雅之（日本リハビリテーション専門学校作業療法学科昼間部学科長）
- (3) 田原真悟（介護老人保健施設 牧野ケアセンター リハビリテーション科 科長）
- (4) 神田幸洋（医療法人社団健育会ケアセンターけやき訪問看護ステーション）

【本校卒業生】

- (5) 草野孝昭【本校卒業生】

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

- 第1回：2023年6月9日（金）（彰栄リハビリテーション専門学校）
第2回：2023年10月6日（金）（彰栄リハビリテーション専門学校）
第3回：2024年2月9日（金）（彰栄リハビリテーション専門学校）

2023年度自己点検及び自己評価報告書による評価報告

【教育目標と本年度の重点目標の評価】

今後も目標達成に向けて努力してほしい。なお、新型コロナも5類となり以前の環境に戻りつつある。教育方法や効果についても再度確認し見直してもらいたい。

【基準1. 教育理念・目的・育成人材像】

具体的に明記したので、これをホームページなどの広報に生かし、求める人材育成に努力していきたい。

1 - 1 新型コロナも5類に移行した事を受け、学校として理念に基づいた人材育成ができる環境が戻ってきた。

【基準2. 学校運営】

学園全体で行っている運営会議等で検討した事、決定した事を踏まえ、学内においての会議で教職員に周知徹底していく。また、人事考課についても各員意識しながら業務にあたるようにする。

2 - 2 専門実践教育訓練給付金については、再申請し許可となった。

2 - 7 新しい教務システム (info clipper) の導入により、教務の効率化を図った。

【基準3. 教育活動】

対面での授業に戻り、各机に装着されたシールドも撤去された。ただ、実習施設である病院は、まだまだ、感染に対し厳しい対応を取っている為、普段の生活との違いを指導する必要がある。卒業学年は、実習期間を考慮し、座学授業が、4~5月に集中しているため、健康状態にも最新の注意を払い、指導している。

3 - 10 実習に行く前の指導、実習先の評価、実習後学校に戻ってからの評価と試験結果だけでない評価を行っている。

3 - 12 専任教員は定期的に、臨床業務として施設に赴き学生指導に活かせるよう実務の習得を行っている。

【基準4. 学習成果】

作業療法士として業務にあたるには、国家試験に合格する必要があるため、試験勉強を最優先しながら、学校生活をおくることとなる。

4 - 15 卒業生の社会的評価は、多くの求人や精神領域での新たな業務など活躍するシーンが増えている。また、卒後教育として卒業生に対し学校発信での講座も実施している。

【基準 5. 学生支援】

大項目総括 担任制を取り入れている事で、新入生に関しては学校生活に慣れるまでのメンタル的なケア、また臨床実習などの不安も担任が取り除いている。学校全体としては、外部より専門の指導員を招き、定期的に学生の相談にあたってもらっている。

5-17 低い学年での途中退学者が多いことと、理由として学力不足があがっている事について、指導体制の検討が必要と考える。

【基準 6 教育環境】

大項目総括 校内の Wi-Fi 環境の整備、コロナが終息し、変化してしまった教育環境を正常に戻すよう注意をはらった。

6-22 施設・設備 評価器具の更新は必要のため、設備等の刷新を進める。

6-24 防災・安全管理 消防訓練及び避難訓練を計画的に実施、救命技能認定も講習会を学内で実施。

【基準 7 学生の募集と受け入れ】

大項目総括 専門実践教育訓練給付金を使用し入学してくる社会人が大半となり、高校生からの直接入学を確保するべく指定校を増やしたが、結果としては高校生からの入学者は変化がみられず厳しい状況が続く。

【基準 8 財務】

大項目総括 法人全体としても、厳しい状況となっている。また、本校については、学費も低く設定しており、定員充足率が低いと収支が合わなくなってくる。

【基準 9 法令等の遵守】

9-32 学校設置基準を遵守する事はもちろん、作業療法士の養成校として、厚生労働省からの基準、日本リハビリテーション協会からの方針などについてもしっかり対応できている。

【基準 10 社会貢献・地域貢献】

大項目総括 区のフレイル予防事業に参加、小学校の障害教育との連携も図っている。

学校法人彰栄学園

彰栄リハビリテーション専門学校

〒174-0004 東京都板橋区板橋 1-42-15

TEL 03-5943-0411 FAX 03-5943-0412